

英 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	英語 701・801・901	A 4 502	令和2年
9	開隆堂出版	開隆堂◆	英語 702・802・902	A B 508	
15	三省堂	三省堂◆	英語 703・803・903	A B 550	
17	教育出版	教 出◆	英語 704・804・904	A B 532	
38	光村図書	光 村◆	英語 705・805・905	A B 570	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	英語 706・806・906	A B 474	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
18冊	東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館

2 学習指導要領における教科・分野の目標等

【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【英語の目標】

英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、第1の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1の(3)に示す資質・能力を育成する。

- (1) 聞くこと
 - ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。
 - イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。
 - ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
- (2) 読むこと
 - ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
 - ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
- (3) 話すこと〔やり取り〕
 - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。
 - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
- (4) 話すこと〔発表〕
 - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
 - ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
- (5) 書くこと
 - ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。
 - イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてま

とまりのある文章を書くことができるようにする。

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

【参考 中学校学習指導要領 第2章 第9節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い(3) から(抜粋)】

教材については、次の事項に留意するものとする。

ア 教材は、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成するため、1に示す五つの領域別の目標と2に示す内容との関係について、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示すとともに、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮した題材を取り上げること。

イ 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし、次の観点に配慮すること。

(ア) 多様な考え方に対する理解を深めさせ、公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。

(イ) 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。

(ウ) 広い視野から国際理解を深め、国際社会と向き合うことが求められている我が国の一員としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立つこと。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表 (調査結果は「別紙1」)

調査研究項目 (調査研究の対象)	対象の根拠 (目標等)	数値データの単位
a 各学年で扱われている主な単元の数	英語「3 指導計画の作成と内容の取扱い(3)」	個
b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数	外国語の目標 英語の目標	個
c 各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数	英語「2 内容 [知識及び技能] (1) エ」	種類
d 取扱い語数	英語「2 内容 [知識及び技能] (1) ウ」	個
e 発展的な内容を取り上げている箇所数	学習指導要領 総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容 (調査結果は「別紙2」)

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

a 各学年で扱われている主な単元 (Unit, Lesson, Program 等の名称を冠され、複数のパートから構成されているもの。ただし、特定の領域・言語の使用場面等に焦点を当てた課、読み物教材、付録等を除く。) のタイトル及び扱う題材 (別紙2-1)

b 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の各学年における単元別の数 (別紙2-1)

c 学習指導要領の英語「2 内容 [知識及び技能] (1) エ」に示されている「文、文構造及び文法事項」のうち主なものが扱われている学年。

なお、今回の学習指導要領の改訂で新たに追加された「文、文構造及び文法事項」の扱いについても把握できるようにする。(別紙2-2)

e 発展的な内容として扱われている文法事項等の名称及び具体的な学習の内容 (別紙2-3)

<その他>

* 1 北朝鮮による拉致問題の扱い

< 調査の結果、* 1については記載のないことを確認した。 >

* 2 防災や自然災害の扱い（別紙 2 - 4）

* 3 オリンピック・パラリンピックの扱い（別紙 2 - 5）

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、「英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げる」とされている。このことから、各教科書で扱われている題材を把握するため、各単元のタイトル及び扱う題材を調査対象とする。（a）
- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、対話的な言語活動を一層重視する観点から「話すこと [やり取り]」の領域が設定され、従来の「話すこと」が「話すこと [やり取り]」と「話すこと [発表]」に分けられている。また、外国語科の目標として「言語活動を通して、(中略) コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とされるところとともに、英語の目標として、「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域別の目標が設定されている。このことから、それぞれの領域の扱いを把握するため、五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数を調査対象とする。（b）
- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、文、文構造及び文法事項について、表現をより適切でより豊かにするなどの目的で、「感嘆文のうち基本的なもの」や「現在完了進行形」など数項目が追加されている。このことから、各教科書においてそれぞれの学年で扱われている主な「文、文構造及び文法事項」（本調査では 32 項目）を調査対象とするとともに、これらのうち新たに追加されたものの扱いも明らかになるようにする。（c）
- ・ 学習指導要領（平成 29 年告示）では、取扱い語数が、学習指導要領（平成 20 年告示）の「1200 語程度」の語から、小学校で学習する「600～700 語」に五つの領域別の目標を達成するための言語活動に必要な「1600～1800 語程度」を加えた「2200～2500 語程度」の語に改訂されている。このことから、小学校で学習した語も含め、各教科書において学年ごとに扱われている語数を調査対象とする。（d）
- ・ 発展的な内容については、学習指導要領第 1 章総則「第 2 教育課程の編成 3 教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第 2 章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、(3)「指導計画の作成等に当たったの配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること」と示されている。これらのことから、発展的な内容の扱いの有無、取り上げている内容の具体的な学習の内容について調査する。（e）

<その他>

- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針 1 として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童・生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて調査する。（* 1）
- ・ 東京都では、自然災害における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害における関係機関の役割等について考察させることを通じて、これらの問題を正しく理解できるようにするため、防災や、自然災害時における関係機関の役割等の扱いについて調査する。（* 2）
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針 2・3 に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。（* 3）

③ 調査研究の方法

- a 各学年で扱われている主な単元（Unit, Lesson, Program 等の名称を冠され、複数のパートから構成されているもの。ただし、特定の領域・言語の使用場面等に焦点を当てた課、読み物教材、付録等を除く。）のタイトル及び当該単元で扱う題材について整理する。
- b 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の五つの領域のうち、特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の各学年における単元別の数について整理する。その際、各教科書で設定している五つの領域別の記号や、複数の領域を統合した活動を表す記号等の数を参考とする。
- c 学習指導要領の英語「2 内容 [知識及び技能] (1) エ」に示されている「文、文構造及び文法事項」について、各学年で扱われている状況について整理する。その際、各教科書で扱われている新たな文法事項等を導入するための英文（いわゆる基本文等）、各単元の本文等を参考とする。
- d 各教科書で学年ごとに扱われている語彙について整理する。その際、各教科書の巻末に掲載されている単語一覧等の見出し語の数を参考とする。
- e 発展的な内容として扱われている文法事項等の名称及び具体的な学習の内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2（16）に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

<その他>

- * 1 北朝鮮による拉致問題について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 2 防災や自然災害について取り上げている項目及び記述の概要を調査する。
- * 3 オリンピック・パラリンピックについて取り上げている項目及び記述の概要を調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

以下の観点について記載する。

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫（単元構成上の工夫等）
- イ 小学校外国語科との円滑な接続のための工夫（小学校で学習した語彙や表現の扱い方等）
- ウ 付録等の資料の工夫（分野別の語彙リスト等）
- エ ユニバーサルデザインの視点
- オ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容ア 調査研究の総括表】(中学校 英語)

項目	a 各学年で扱われている主な単元の数		b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数 ※調査項目は32項目	d 取扱い語数	e 発展的な内容を取り上げている箇所数
	発行年	各学年で扱われている主な単元の数	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと			
東 書	第1学年	12	55	36	34	23	41	9	984	0
	第2学年	8	14	48	25	33	49	10	484	2
	第3学年	7	15	33	21	30	40	9	423	5
	合計	27	84 16.9%	117 23.5%	80 16.1%	86 17.3%	130 26.2%	28	1,891	7
開隆堂	第1学年	12	44	18	46	7	32	3	1,069	0
	第2学年	8	36	13	43	9	36	3	611	0
	第3学年	7	32	13	35	9	32	3	540	0
	合計	27	112 27.7%	44 10.9%	124 30.6%	25 6.2%	100 24.7%	9	2,220	0
三省堂	第1学年	9	31	16	25	9	22	3	951	0
	第2学年	8	21	13	15	10	19	3	667	0
	第3学年	8	20	13	13	10	19	3	527	2
	合計	25	72 28.1%	42 16.4%	53 20.7%	29 11.3%	60 23.4%	9	2,145	2
教 出	第1学年	10	58	44	19	15	12	2	1,038	0
	第2学年	10	47	57	13	15	14	3	413	0
	第3学年	8	29	59	5	12	13	3	344	0
	合計	28	134 32.5%	160 38.8%	37 9.0%	42 10.2%	39 9.5%	8	1,795	0
光 村	第1学年	9	74	33	37	9	34	3	1,008	0
	第2学年	8	69	38	32	11	28	3	632	0
	第3学年	8	62	32	29	13	24	3	655	0
	合計	25	205 39.0%	103 19.6%	98 18.7%	33 6.3%	86 16.4%	9	2,295	0
啓林館	第1学年	11	39	36	56	25	31	3	786	0
	第2学年	8	35	33	37	43	32	3	555	0
	第3学年	6	26	26	27	32	25	4	374	0
	合計	25	100 19.9%	95 18.9%	120 23.9%	100 19.9%	88 17.5%	10	1,715	0
平均値	第1学年	10.5	50.2	30.5	36.2	14.7	28.7	3.8	972.7	0
	第2学年	8.3	37.0	33.7	27.5	20.2	29.7	4.2	560.3	0.3
	第3学年	7.3	30.7	29.3	21.7	17.7	25.5	4.2	477.2	1.2
	合計	26.2	117.8	93.5	85.3	52.5	83.8	12.2	2,010.2	1.5

a 各教科書で扱われている主な単元(Unit, Lesson, Program)等の名称を冠され、複数のパートから構成されているものを数えたもの。
b 各教科書が設定している領域別の記号の扱いに基づき、「五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動」(各領域の活動)及び「複数の領域を統合した活動」をそれぞれ示す記号等の数を数えたもの。
なお、複数の領域を扱った一連の活動(「統合」の記号の付いたもの)等を「複数の領域を統合した活動」として数えている。
各領域の%は、五つの領域の活動の合計数から、その領域の活動が占める割合を表している。なお、小教第二位を四捨五入している。
c 中学校学習指導要領(平成29年告示)に示されている主な文、文構造、文法事項のうち、本調査で扱っている32項目について、各教科書で学年ごとに扱われている項目の数を数えたもの。
d それぞれの教科書で巻末の単語一覧等に掲載されている出し語の数を数えたもの。
中学校で学習する新語の数は、1,600～1,800語程度であるが、小学校で学習した語(600～700語)を中学校において繰り返し扱うなどしている教科書においては、取扱い語数が増加している。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 東書】(中学校 英語)

		a 各学年で扱われている主な単元の数					b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数				
主な単元 (Unit, Lesson等)のタイトル		各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの			
第1学年	0 Welcome to Junior High School	小学校のふり返し	0	0	0	0	0	0	0		
	1 New School, New Friends	中学校生活の始まり	4	3	3	0	3	0	0		
	2 Our New Teacher	ALTのクック先生	4	3	4	2	3	0	0		
	3 Club Activities	部活動	4	3	3	0	3	0	0		
	4 Friends in New Zealand	ニュージーランドの中学校生活	4	3	3	0	3	0	0		
	5 A Japanese Summer Festival	夏祭りの思い出	4	3	3	3	3	3	1		
	6 A Speech about My Brother	兄の卓也の紹介スピーチ	5	3	2	4	4	4	1		
	7 Foreign Artists in Japan	日本に暮らす外国人アーティスト	6	3	4	2	4	4	1		
	8 A Surprise Party	サプライズ誕生パーティー	5	3	3	3	3	5	1		
	9 Think Globally, Act Locally	国際支援、水問題	6	4	4	3	3	4	2		
第2学年	10 Winter Vacation	クック先生のロンドン旅行	5	3	2	3	3	5	1		
	11 This Year's Memories	一年の思い出	8	5	3	3	3	4	2		
	0 My Spring Vacation	春休みの思い出	0	3	0	2	2	0	0		
	1 A Trip to Singapore	シンガポールへの旅行	2	6	4	6	7	1	1		
	2 Food Travels around the World	食文化の歴史や変化	2	6	3	5	6	6	1		
	3 My Future Job	職業体験と将来の夢	2	7	3	4	10	2	2		
	4 Homestay in the United States	ホームステイでの国際交流体験	2	6	2	4	8	1	1		
	5 Universal Design	ユニバーサルデザインの意義	2	6	4	4	4	1	1		
	6 Research Your Topic	好きなトピックについての調査と発表	2	7	4	4	4	6	2		
	7 World Heritage Sites	世界遺産の特別な価値	2	7	5	4	6	2	2		
第3学年	0 Three Interesting Facts about Languages	世界の言語について	1	0	1	0	1	0	0		
	1 Sports for Everyone	人々を結びつけるスポーツの力	2	6	2	7	7	1	1		
	2 Haiku in English	俳句の魅力と英語の俳句	2	6	4	3	7	1	1		
	3 Animals on the Red List	絶滅のおそれのある動物たち	2	7	3	4	6	2	2		
	4 Be Prepared and Work Together	災害時の外国人支援	4	6	6	5	6	1	1		
	5 A Legacy for Peace	ガンディーの功績と受け継がれる理念	2	3	1	5	7	2	2		
	6 Beyond Borders	国をこえて助け合う大切さ	2	5	4	6	6	2	2		
	第1学年	12単元	55	36	34	23	41	9	9		
	第2学年	8単元	14	48	25	33	49	10	10		
	第3学年	7単元	15	33	21	30	40	9	9		
各学年及び 全学年の 合計	27単元	84	117	80	86	130	28	28			

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a, b 開隆堂】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数		b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数						
主な単元 (Unit, Lesson等)のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの	
第1学年	0-1 Get Ready	自己紹介、新しい仲間へのインタビュアー等	4	1	2	1	2	0
	0-2 アルファベットを確かめよう、つづり字と発音	アルファベットの読み方、単語のつづり	0	0	0	0	0	0
	1 友だちを作ろう	自己紹介の場面	4	1	4	0	3	0
	2 1-Bの生徒たち	新しい仲間とのやり取り	3	1	5	0	3	0
	3 タレントショーを開こう	タレントショー	4	2	4	2	3	1
	4 Let's Enjoy Japanese Culture.	日本文化	4	1	4	0	3	0
	5 Junior Safety Patrol	アメリカの子ども安全パトロール	3	1	4	0	3	0
	6 The Way to School	ケニアで困難を克服しながら通学する少年	5	1	5	0	3	0
	7 Research on Australia	オーストラリアの自然や文化	5	2	5	1	3	1
	8 The Year-End Events	日本の年末の伝統	4	2	4	0	2	0
第2学年	9 A Trip to Finland	フィンランドの文化、自然	4	2	4	2	3	0
	10 Grandma Baba's Warming Ideas!	物語「ばばあちゃん」	4	4	5	1	4	1
	1 Start of a New School Year	新学年の出来事	5	1	5	1	4	0
	2 Leave Only Footprints	カナダの国立公園のルールやそこに住む生物	6	1	6	1	4	0
	3 Taste of Culture	世界各国の屋台の文化	4	3	5	1	6	1
	4 High-Tech Nature	自然を利用して開発された技術	4	1	5	1	4	0
	5 Work Experience	職場体験での経験	5	1	5	1	4	0
	6 Live Life in True Harmony	ステイビー・ワンダーの楽曲とキング牧師、ネルソン・マンデラとの関係	4	2	6	2	5	1
	7 A Gateway to Japan	海外で人気の日本のポップカルチャー	5	1	6	1	4	0
	8 A Hope for Lasting Peace	広島に送られる折り鶴とその再生	3	3	5	1	5	1
第3学年	1 Bentos Are Interesting!	日本と世界の弁当文化	5	1	6	1	4	0
	2 Good Night. Sleep Tight.	睡眠が健康に及ぼす影響	5	1	5	1	3	0
	3 A Hot Sport Today	バスケットボールの歴史など	6	2	5	1	6	1
	4 Sign Languages, Not Just Gestures!	アメリカの手話	3	2	4	2	4	0
	5 The Story of Chocolate	チョコレートの歴史や社会問題	4	2	5	1	6	0
	6 The Great Pacific Garbage Patch	太平洋ごみベルト	5	1	5	1	4	1
	7 Is AI a Friend or an Enemy?	AIが自分たちの生活に及ぼす影響	4	4	5	2	5	1
各学年 及び 全学年の 合計	第1学年	12単元	44	18	46	7	32	3
	第2学年	8単元	36	13	43	9	36	3
	第3学年	7単元	32	13	35	9	32	3
	全学年の合計	27単元	112	44	124	25	100	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりでまでとしている。)

「別紙2-1」(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 三省堂【中学校 英語】

a 各学年で扱われている主な単元の数		b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数						
主な単元(Unit, Lesson等)のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの	
第1学年	0 Starter 1～3	英語の文字と音、いろいろな単語 等	4	0	4	0	0	
	1 About Me	新しい友だちや先生との中学校生活	3	3	3	0	0	
	2 English Camp	国際交流イベント、地域の行事	2	2	2	0	0	
	3 Our New Friend	インドからの転校生、異文化	7	4	5	2	3	
	4 My Family, My Hometown	イギリス、家族、ホームタウン	3	1	3	2	3	
	5 School Life in the U.S.A.	アメリカの中学校と中学生の生活	3	1	2	1	3	
	6 Discover Japan	日本の伝統文化、旅行	3	2	2	1	3	
	7 Wheelchair Basketball	車いすバスケットボール	3	1	2	2	2	
第2学年	8 Green Festival	自然、環境保護	3	2	2	1	3	
	0 This Month's Books	英語の本の紹介記事	0	0	0	0	0	
	1 Peter Rabbit	イギリス文学「ピーターラビット」	3	1	1	3	2	
	2 My Dream	自分の将来像、将来の夢	3	2	2	1	2	
	3 Every Drop Counts	自然科学、社会貢献活動	2	1	1	3	2	
	4 Uluru	オーストラリア、地域の文化	3	3	2	1	3	
	5 Things to Do in Japan	旅行・観光、異文化体験	4	2	4	0	4	
	6 Tea from China	中国、お茶の文化と歴史	3	2	2	1	3	
	7 Rakugo Goes Overseas	日本の伝統文化、英語落語	3	2	3	1	3	
	0 Best Music of All Time	アメリカの音楽	0	0	0	0	0	
第3学年	1 Stand by Me	音楽の持つ力	3	1	2	2	2	
	2 Languages in India	インドの言語と文化	3	2	2	1	3	
	3 The Story of Sadako	広島原爆、平和	3	1	2	1	3	
	4 The World's Manga and Anime	世界に広がった漫画とアニメ	3	3	2	1	3	
	5 I Have a Dream	アメリカの公民権運動	3	2	3	1	3	
	6 Imagine to Act	空想する勇氣、行動する勇氣	3	1	1	2	3	
	7 For Our Future	中学校生活の思い出、英語を学ぶ意義	2	3	1	2	2	
各学年 及び 全学年の 合計	第1学年	9単元	31	16	25	9	22	
	第2学年	8単元	21	13	15	10	19	
	第3学年	8単元	20	13	13	10	19	
	全学年の合計	25単元	72	42	53	29	60	

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 教出】(中学校 英語)

a 各学年で扱われている主な単元の数		b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数						
主な単元 (Unit, Lesson等) のタイトル	各単元で扱う題材	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの	
第1学年	0 Springboard 1~4	様々な会話、音声から文字へ 等	5	0	0	0	0	0
	1 Hello, New Friends	学校生活・新しい友達や先生との出会い	4	2	1	3	2	0
	2 Talking with Friends	日常生活:好きなもの、趣味	9	0	5	1	1	0
	3 My Favorite Person	日常生活:家族や有名人の紹介	8	3	2	4	2	0
	4 Our Summer Stories	日本と外国の文化:風物や名所	5	8	1	0	4	0
	5 School Life in Two Countries	日本と外国の文化:学校生活の違い	6	3	2	2	0	0
	6 Lunch in Chinatown	日常生活:食事	6	5	4	0	0	0
	7 Symbols and Signs	コミュニケーション:記号や標識	5	7	2	2	0	1
	8 Holiday in Hokkaido	日本の地理・文化:北海道	6	4	1	1	2	0
第2学年	9 Helping the Planet	自然科学・環境:エネルギー問題、ゴミ問題	4	12	1	2	1	1
	0 Ms. King's Trip with Her Friend	しまなみ海道、松山市	0	2	0	0	0	0
	1 Service Dogs	福祉、動物:介助犬	6	4	2	1	1	0
	2 Our Energy Sources	自然科学、環境:エネルギー問題	5	5	2	1	2	0
	3 Design in Our Life	社会、科学技術:デザインの役割	5	7	1	2	1	1
	4 Workplace Experience	職業、社会:職場体験	5	4	2	1	2	0
	5 How to Celebrate Halloween	外国の文化:ハロウィン	5	4	1	2	2	0
	6 Castles and Canyons	日本と外国の地理・文化:さまざまな名所	6	4	2	3	1	0
	7 The Gift of Giving	社会、福祉:さまざまな慈善活動	5	9	1	1	2	1
第3学年	8 Rakugo in English	日本の伝統文化:落語	5	5	1	3	1	0
	9 Gestures and Sign Language	コミュニケーション:ジェスチャーや手話	5	13	1	1	2	1
	0 Washoku, or Japanese Cuisine	京都での体験、和食	0	2	0	0	0	0
	1 Aya Visits Canada	外国の地理、文化:カナダ、料理	7	4	2	0	4	0
	2 The Eagles in Hokkaido	環境:北海道の自然保護	5	5	0	1	3	0
	3 News and Ads	情報社会:ニュース動画やコマージョナル動画	5	9	0	4	0	1
	4 Sports Legends	職業、社会:スポーツ界で活躍する人々	5	4	1	1	3	0
	5 Being True to Ourselves	学校生活:卒業後の進路	5	5	1	1	3	0
	6 Why do We Have to Work?	職業:働くことの意義、働き方	1	3	0	4	0	1
各学年 及び 全学年の 合計	7 Debating Doggy Bags	環境:食品ロスと食品衛生	1	27	1	1	0	1
	第1学年	10単元	58	44	19	15	12	2
	第2学年	10単元	47	57	13	15	14	3
	第3学年	8単元	29	59	5	12	13	3
	全学年の合計	28単元	134	160	37	42	39	8

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙2-1」(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 光村 【中学校 英語】

		a 各学年で扱われている主な単元の数				b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数			
主な単元(Unit, Lesson等)のタイトル		各単元で扱う題材		聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの
第1学年	0 Let's Be Friends!	好きなもの、世界の国 等		9	1	7	0	5	0
	1 Here We Go!	出会い		8	3	3	0	5	0
	2 Club Activities	部活動		8	3	4	0	3	0
	3 Enjoy the Summer	夏休み		9	3	4	0	3	1
	4 Our New Friend	転校生		8	3	3	1	3	0
	5 This Is Our School	学校公開		7	4	5	0	3	0
	6 Cheer Up, Tina	家族		8	6	4	0	4	1
	7 New Year Holidays in Japan	年末年始		8	6	3	0	4	0
第2学年	8 Getting Ready for the Party	誕生日会		9	4	4	8	4	1
	1 Hajin's Diary	日常生活		10	4	3	0	4	0
	2 Basketball Tournament	球技大会		8	3	5	0	3	0
	3 Plans for the Summer	夏の予定		10	5	4	0	4	1
	4 Tour in New York City	海外旅行		7	4	5	2	3	0
	5 Earthquake Drill	防災訓練		8	4	5	0	3	0
	6 Work Experience	職場体験		9	7	3	0	4	1
	7 Amazing Australia	異文化クイズ		8	5	3	0	4	0
第3学年	8 Staging a Musical	ミュージカル公演		9	6	4	9	3	1
	1 School Life Around the World	世界の学校		11	4	4	1	3	0
	2 Our School Trip	修学旅行		9	3	5	0	3	0
	3 Lessons From Hiroshima	平和学習		9	5	4	1	3	1
	4 AI Technology and Language	科学技術		7	6	4	0	4	0
	5 Plastic Waste	環境問題		8	4	4	1	3	0
	6 The Chorus Contest	合唱コンクール		8	3	3	1	4	1
	7 Tina's Speech	思い出のスピーチ		6	4	3	1	2	0
各学年 及び 全学年の 合計	8 Goodbye, Tina	別れと旅立ち		4	3	2	8	2	1
	第1学年	9単元		74	33	37	9	34	3
	第2学年	8単元		69	38	32	11	28	3
	第3学年	8単元		62	32	29	13	24	3
	全学年の合計	25単元		205	103	98	33	86	9

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙2-1-1」(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 a、b 啓林館 【中学校 英語】

		a 各学年で扱われている主な単元の数					b 五つの領域のうち特定の領域に焦点を当てた活動及び複数の領域を統合した活動の数					
主な単元(Unit, Lesson等)のタイトル		各単元で扱う題材					聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと	複数の領域を 統合したもの
第1学年	0 Let's Start	学校・町での会話、英語の文字と音 等	7	3	0	2	2	0	2	2	0	
	1 英語で話そう	自己紹介	2	2	1	3	2	1	3	2	0	
	2 学校で	身の回りのもの、人物紹介	3	3	6	3	3	6	3	3	0	
	3 海外からの転校生	ふだんすること、好きなこと	3	3	5	3	3	5	3	3	0	
	4 美術館で	美術館の絵とおみやげ	4	3	7	1	3	7	1	3	1	
	5 エミリーの家で	友人や家族の紹介	3	3	8	1	3	8	1	3	0	
	6 ぼくのおじいさん	祖父の紹介	3	3	5	4	3	5	4	3	0	
	7 アメリカの学校	アメリカの学校の学年、教科書、通学方法	3	3	8	0	3	8	0	3	0	
	8 ベル先生の買い物	こたつ	4	3	6	2	3	6	2	3	1	
	9 冬休みの思い出	金沢、ニューヨーク	3	4	4	4	3	4	4	4	0	
第2学年	10 日本のマンガ文化	鳥獣戯画、ジャパンエキスポ	4	6	6	2	4	6	2	3	1	
	1 What is a Hero?	アンパンマン、やなせたかし	4	4	5	4	4	5	4	4	0	
	2 Traveling Overseas	海外旅行	4	4	4	4	4	4	5	4	0	
	3 In Case of Emergency	災害への備え	5	4	5	6	4	5	6	4	1	
	4 My Future Dream	将来の夢	4	4	5	4	4	5	4	4	0	
	5 Festivals Have Meanings	祭りの背景、花火	4	4	3	6	4	3	6	4	0	
	6 Unique Animals	動物のめずらしい生態	5	4	7	4	4	7	4	4	1	
	7 Let's Compare	テーマの比較 (国別面積・平均寿命、人気のスポーツ等)	4	4	3	8	4	3	8	4	0	
	8 Working Overseas	海外で働く日本人	5	5	5	6	5	5	6	4	1	
	第3学年	1 Food Cultures	さまざまな食文化	4	4	5	4	4	5	4	5	0
2 Living Side by Side		動物との共生	4	4	5	5	4	5	5	4	0	
3 Passing Down Memories		原爆について	5	4	6	3	4	6	3	4	1	
4 Society for All		みんなにやさしい社会(ユニバーサルデザイン)	4	4	4	7	4	4	7	4	0	
5 Whant Can Photos Tell?		写真で見る人物・出来事(歴史的な人物・出来事)	4	4	3	6	4	3	6	4	0	
6 Lively Towns in Japan		地域の活性化	5	6	4	7	4	4	7	4	3	
各学年 及び 全学年の 合計	第1学年	11単元	39	36	56	25	31	56	25	31	3	
	第2学年	8単元	35	33	37	43	32	37	43	32	3	
	第3学年	6単元	26	26	27	32	25	27	32	25	4	
	全学年の合計	25単元	100	95	120	100	88	120	100	88	10	

b ここでは、「主な単元」の範囲を、「単元の始まりから、次の単元の始まる前までの全て」として各活動の数を調査している。
(各学年の最後の「主な単元」の範囲は、その単元の始まりから教科書の終わりまでとしている。)

「別紙2-2①」 【 (1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 c】 (中学校 英語)

※各「発行者」欄の「1年」、「2年」、「3年」は、「3年」は、それぞれの文、文構造、文法事項が扱われている学年を表す。
 ※表中の「例」で示している例文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編による。
 ※表中の「★」の項目は、中学校学習指導要領（平成29年告示）で新たに追加された内容であることを示している。

	c 各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項	発行者					
		東 書	開隆堂	三省堂	教 出	光 村	啓林館
1	be動詞の現在形 (am, is, are)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
2	be動詞の過去形 (was, were)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
3	一般動詞の現在形 (三人称単数現在形、do/doesを用いた疑問文、否定文を含む。)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
4	一般動詞の過去形 (規則動詞、不規則動詞、didを用いた疑問文、否定文を含む。)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
5	疑問詞 (what, who, when, where, which, whose, why, how, how many等)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
6	可能等を表す助動詞 (can)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
7	未来や意思等を表す助動詞 (will)	2年	2年	1年	1年	2年	2年
8	未来を表す表現 (be going to～)	2年	2年	1年	1年	2年	2年
9	許可等を表す助動詞 (may)	2年	2年	1年	1年	2年	2年
10	義務等を表す助動詞と表現 (must, have/has to～)	2年	2年	2年	1年	2年	2年
11	現在進行形 (am/is/are + 動詞のing形)	1年	1年	1年	1年	1年	1年
12	過去進行形 (was/were + 動詞のing形)	1年	1年	1年	2年	2年	2年
13	to不定詞 (to + 動詞の原形) の名詞的用法	1年	2年	2年	2年	2年	2年
14	to不定詞 (to + 動詞の原形) の副詞的用法・形容詞的用法	2年	2年	2年	2年	2年	2年
15	動名詞 (動詞の原形 + ing)	2年	2年	2年	2年	2年	2年
16	比較表現 (比較級、最上級、as～as…等)	2年	2年	2年	2年	2年	2年
17	受け身 (be動詞 + 過去分詞)	2年	2年	3年	2年	2年	2年
18	現在完了形 (have/has + 過去分詞)	3年	2年	2年	3年	3年	3年
19	関係代名詞 (who, which, that)	3年	3年	3年	3年	3年	3年
20	後置修飾 (現在分詞、過去分詞を含む。)	3年	3年	3年	3年	3年	3年

「別紙2-2②」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 c】(中学校 英語)

※各「発行者」欄の「1年」、「2年」、「3年」は、それぞれの文、文構造、文法事項が扱われている学年を表す。
 ※表中の「例」で示している例文は、中学校学習指導要領（平成29年告示）解説外国語編による。
 ※表中の「★」の項目は、中学校学習指導要領（平成29年告示）で新たに追加された内容であることを示している。

	c 各学年で扱われている主な文、文構造、文法事項	発行者					
		東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
21	命令文	1年	1年	1年	1年	1年	1年
22	There + be動詞 + ～(～がある[あった]・いる[いた])の文	1年	1年	2年	1年	2年	2年
23	従属節をつくる接続詞 (because, when, if等) [主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語]のうち、 主語 + 動詞 + 間接目的語 + 名詞/代名詞 例) The teacher told us an interesting story. She gave me her email address. など	2年	2年	2年	2年	2年	2年
24	[主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語]のうち、 主語 + 動詞 + 間接目的語 + how(など)不定詞 例) I showed him how to send email. I showed him where to post the letter. など	2年	3年	2年	2年	3年	3年
25	[主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語]のうち、 主語 + 動詞 + 間接目的語 + how(など)不定詞 例) I showed him how to send email. I showed him where to post the letter. など	2年	3年	2年	2年	3年	3年
26	[主語 + 動詞 + 目的語 + 補語]のうち、 主語 + 動詞 + 目的語 + 名詞/形容詞 例) We call him. Toshi. Kimiko's smile always makes us happy. など	2年	3年	2年	2年	2年	2年
27	感嘆文 例) How interesting! What a big tree! など	1年	1年	1年	2年	1年	1年
28	[主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語]のうち、 主語 + 動詞 + 間接目的語 + thatで始まる節 whatなどで始まる節 例) I'll show you that this is not true. Please teach me what I have to do now. など	3年	3年	3年	2年	3年	3年
29	[主語 + 動詞 + 目的語 + 補語]のうち、 主語 + 動詞 + 目的語 + 原形不定詞 例) Will you let me try? I helped my father wash the car. など	3年	3年	3年	2年	3年	3年
30	主語 + be動詞 + 形容詞 + thatで始まる節 例) I'm glad that you like it. I'm sure that many people will live with a robot in the future. など	2年	3年	2年	2年	2年	3年
31	現在完了進行形 例) It has been raining since this morning. Masashi and Yukio have been playing soccer for two hours. など	3年	2年	3年	3年	3年	3年
32	仮定法のうち基本的なもの 例) If I were you, I would ask my best friend to help me. if you had five million yen, what would you do? I wish I knew my cat's feelings. She is always crying in the house. など	3年	3年	3年	3年	3年	3年
第1学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数		12	11	13	13	10	9
第2学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数		13	13	12	14	14	14
第3学年で扱われている主な文、文構造、文法事項の数		7	8	7	5	8	9
合計		32	32	32	32	32	32

「別紙2-3」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 e】(中学校 英語)

項目 発行者	学年	取り上げている内容 (文法事項等の名称)	具体的な学習の内容 (教科書の英文又はその一部)
東 書	第1学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第2学年	・過去完了形 ・仮定法過去完了形	<ul style="list-style-type: none"> ・One morning I woke up and discovered that Elfie had died during the night.(P133) ・I knew Elfie wouldn't have minded, but I said no.(P133) ※該当箇所に下線を引き、欄外に「発展」であることを明示している。
	第3学年	・関係副詞 ・分詞構文	<ul style="list-style-type: none"> ・It is the time when I wait for the mail to come.(P120) ・That is why waiting for the mail is a sad time for me.(P120) ・Frog and Toad sat on the porch, feeling sad together.(P120) ・Toad was in bed, taking a nap.(P121) ・They sat there, feeling happy together.(P122) ※該当箇所に下線を引き、欄外に「発展」であることを明示している。
開隆堂	第1学年		
	第2学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第3学年		
三省堂	第1学年		
	第2学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第3学年	・関係副詞 ・使役動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・I have a dream that my four little children will one day live in a nation where they will not be judged by the color of their skin but by the content of their character.(P76) ・I had my hair cut off and sold it because....(P124) ※欄外に「発展」であることを明示している。
教 出	第1学年		
	第2学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第3学年		
光 村	第1学年		
	第2学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第3学年		
啓林館	第1学年		
	第2学年	※ 「発展」と明示している項目はなかった。	
	第3学年		

「別紙2-4」【防災や自然災害の扱い】(中学校 英語)

発行者	「単元名又は教材名」 【掲載方法】 記述の概要 (学年 掲載ページ)
東 書	<p>「Let's Listen 3 ラジオの災害情報」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】自然災害時の「ラジオの災害情報」をリスニングの題材として掲載(3年P56) <p>「Unit 4 Be Prepared and Work Together」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】災害時の外国人支援の取組について紹介している本文を掲載(3年P62-65) ・【イラスト】災害時に役立つ図記号を使った標識のイラストを掲載(3年P66) ・【写真】図記号を使った標識の写真、非常持出袋とその中身を示した写真、外国人観光客などの被災を想定した避難訓練の様子の写真を掲載(3年P57, P60, P65)
開隆堂	<p>「Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】火災発生時の館内放送(出火場所や非常口の場所を知らせるもの)をリスニングの題材として掲載(3年P90)
三省堂	<p>「Take Action! Listen 1 避難訓練のアナウンス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】学校での避難訓練の放送(火災が起きた際の出火場所と避難先を知らせるもの)をリスニングの題材として掲載(3年P16)
教 出	<p>「Lesson 7 Symbols and Signs」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】ピクトグラムが色を使用している例として、非常口のピクトグラムを紹介する本文を掲載(1年P93) ・【写真】非常口のピクトグラムの写真を掲載(1年P93) <p>「Lesson 7 The Gift of Giving」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】自然災害などの際に行われる募金活動について紹介する本文を掲載(2年P82)
光 村	<p>「Unit 5 Earthquake Drill」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】防災訓練及び地域で暮らす外国人に向けた防災マニュアルについて紹介している本文を掲載(2年P63-71) ・【写真】防災バッグの写真、防災バッグの中身についての写真、自然災害(台風、落雷、豪雪)に関する写真を掲載(2年P63,67,70) ・【イラスト】地震の際の避難に関するイラスト、防災バッグに関するイラストを掲載(2年P63,64,66,68) <p>「Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】羽生結弦選手へのインタビューの中で東日本大震災に言及している部分を本文として掲載(2年P87)
啓林館	<p>「Unit 3 In Case of Emergency」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】地震発生時の行動、防災用品、防災訓練、防災公園などについて紹介している本文を掲載(2年P31-41) ・【写真】地震発生時の行動、防災訓練、防災公園等の写真、簡易ランタンの写真を掲載(2年P31,38,40,41) ・【イラスト】地震の際の行動、防災用品、防災訓練の際の行動のイラスト、マンホールトイレの仕組みのイラスト、簡易ランタンのつくり方のイラストを掲載(2年P32,34,36,38,41)

「別紙2-5【オリンピック・パラリンピックの扱い】(中学校 英語)

発行者	「単元名又は教材名」【掲載方法】 記述の概要(学年 掲載ページ)
東 書	<p>「Unit 1 Sports for Everyone」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】車いすテニスの選手の話題を例に、パラリンピックについて紹介する本文を掲載(3年P7-15) ・【コラム】パラリンピックの概要について紹介するコラムを掲載(33年P8) ・【写真】様々な障がい者スポーツの写真、第1回パラリンピックの開会式の写真、車いすテニス選手(国枝慎吾選手、上地結衣選手)の写真、競技用車いすの写真(3年P7,8,13,15) ・【イラスト】パラリンピックスポーツのピクトグラムのイラストを掲載(3年P9)
開隆堂	<p>「Word Web ③ オリンピック競技・パラリンピック競技」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】オリンピック・パラリンピックの競技名を英語と日本語で掲載(3年P109) ・【イラスト】聖火の背景に複数の国の国旗が配されたイラストを掲載(3年P109)
三省堂	<p>「Lesson 7 Wheelchair Basketball」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】車いすバスケットボールに関するやり取りや、車いすバスケットボール選手のエッセイを紹介する本文を掲載(1年P113-119) ・【写真】車いすバスケットボールの競技場面の写真、車いすバスケットボール用の車いすの写真、車いすバスケットボール選手(網本麻里選手)の写真を掲載(1年P113,115,118,119) ・【イラスト】車いすバスケットボールに参加しているイラストを掲載(1年P114,116)
教 出	<p>「Lesson 3 My Favorite Person」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【写真】スキージャンプ選手(高梨沙羅選手)、フィギュアスケート選手(羽生結弦選手)、卓球選手(石川佳純選手)の写真を掲載(1年P44,46) <p>「Lesson 7 Symbols and Signs」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】1964年に日本オリンピック委員会が作成したピクトグラム及び2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて作成されたピクトグラムについて紹介する本文を掲載(1年P92,93) <ul style="list-style-type: none"> ・【イラスト】1964年に日本オリンピック委員会が作成したピクトグラムのイラスト、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて作成されたピクトグラムのイラストを掲載(1年P92,93) <p>「Lesson 4 Sports Legends」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】日本最初のオリンピック金メダリスト(織田幹雄選手)について紹介する本文、1964年東京オリンピックの金メダリスト(ベティ・カスバート選手)について紹介する本文、スキージャンプ選手(高梨沙羅選手)について紹介する本文を掲載(3年P48,52,53) ・【写真】日本最初のオリンピック金メダリスト(織田幹雄選手)の写真、1964年東京オリンピックの金メダリスト(ベティ・カスバート選手)の写真、卓球選手(石川佳純選手)、陸上競技選手(桐生祥秀選手)、車いすテニス選手(国枝慎吾選手)の写真、スキージャンプ選手(高梨沙羅選手)の写真を掲載(3年P48,49,52,53)
光 村	<p>「Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】フィギュアスケート選手(羽生結弦選手)へのインタビューを紹介する本文を掲載(2年P86-89) ・【写真】フィギュアスケート選手(羽生結弦選手)の写真を掲載(2年P86,88,89) <p>「Let's Read more 1 The Runner Wearing Number 67」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】1964年の東京オリンピックにおける10,000メートル走選手(カルナナンダ選手)のエピソードを紹介した本文を掲載(3年P129,130) ・【写真】1964年の東京オリンピック10,000メートル走の写真、10,000メートル走選手(カルナナンダ選手)の写真を掲載(3年P129,130)
啓林館	<p>「Unit 5 What Can Photos Tell?」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【本文】第1回近代オリンピックについて紹介する本文を掲載(3年P70) ・【写真】第1回近代オリンピックの写真(3年P63,70,73) ・【コラム】第1回近代オリンピックについて紹介するコラムを掲載(3年P73)

「別紙3-1」【(2)構成上の工夫 ア、イ】(中学校 英語)

項目 発行者	ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫 (単元構成上の工夫等)	イ 小学校外国語科との円滑な接続のための工夫 (小学校で学習した語彙や表現の扱い方等)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> 各単元冒頭での到達点(GOAL)の提示、単元末での「Unit Activity」の設定、学期末を想定した「Stage Activity」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 各単元末の「CHECK」(振り返りの視点を示したもの)、巻末の「CAN-DOリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では小・中接続単元を設定(P4-8)するとともに、Unit5までは各パートの導入として「小学校で学習した表現を使う『話すこと』の活動」を設定している。また、小学校で扱われているSmall Talkに取り組むパートを別途設定している。 「小学校の単語」の一覧を、各学年の巻末資料として掲載している。また、本文の各パート等においても、この一覧に含まれる語に記号を付けている。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 各単元冒頭での目標(Goal)の提示、単元末の自己表現活動に向けた各種活動の配置、複数単元学習後の「Our Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 「Our Project」の「Go!」のパートに設定された振り返りの活動や、巻末の「英語で『できるようになったこと』リスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では小・中接続単元(P7-19)において、お互いの好きなことなどについて英語によるやり取りや英語を書き写す活動など、小学校での学習内容を踏まえた活動を設定している。また、巻末に「小学校で学んだ単語」の一覧を掲載している。 各学年巻末の「単語と熟語」の一覧には、小学校で学習した語彙が分かるよう、「小」の記号を付けている。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、「GET」(習得)パートから「USE」(活用)パートへとつながるよう構成するとともに、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)に向けて各単元を配置するよう工夫している。 巻末の「What Can I Do?」(CAN-DOリスト)により、生徒が学習の達成状況を把握できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では小・中接続単元(P8-13)を設定するとともに、Lesson3までは小学校で学習した内容を踏まえた「聞く、話す、読む、書く」の活動を順に設定している。また、巻末付録の「いろいろな単語」の一覧において、「小学校で出会ったもの」については、小学校で学習したことが分かるように「☆」の記号を付けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、基礎的・基本的な知識や技能の習得から活用へと各活動を配置するとともに、複数単元学習後の「Project」(複数の領域を統合した活動)に向けて各単元を配置するよう工夫している。 各単元末の「Grammar」に設定された「Lesson〇をふり返ろう」(振り返りの視点を示したもの)、巻末の「Can-Do 自己チェックリスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では小・中接続単元(P4-9)を設定するとともに、Lesson3までは小学校で学習した語彙や表現、体験した活動などを踏まえて単元を構成している。また、巻末に「小学校で学習したとみなした語」の一覧を掲載している。 各学年の「Word List」には「小学校で学習したとみなした語」が分かるよう「小」の記号を付けている。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> 各単元冒頭での具体的な目標(Goal)の提示、単元末での「Goal」の活動の設定、複数単元学習後の「You Can Do It!」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 各単元末の「ふり返り」(振り返りの視点を示したもの)、巻末の「CAN-DO List」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では小・中接続単元(P6-19)において、小学校で学習した語彙や表現を踏まえた活動を設定するとともに、Unit3までは本文を漫画のセリフ形式にするなど、生徒が徐々に文字に慣れていくよう構成している。また、巻末に小・中接続単元の新出語の一覧を掲載している。 各学年の「Word List」には「小学校で習った語」が分かるよう記号を付けている。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 各単元冒頭での目標の提示、単元末での「Express Yourself」(自己表現活動)の設定、学期末を想定した「Project」(複数の領域を統合した活動)の設定等により、生徒が見通しをもって学習を進められるよう工夫している。 巻末の「Can-Do リスト」により、生徒が学習の達成状況を振り返り、把握できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年では小・中接続単元(P8-21)において、アルファベットを読み書きしたり、「小学校の思い出」や「中学校でしたいこと」についてやり取りしたりするなど、小学校で学習した語彙や表現を踏まえた活動を設定している。

「別紙3-2」【(2)構成上の工夫 ウ〜オ】(中学校 英語)

項目 発行者	ウ 付録等の資料の工夫(分野別の語彙リスト等)	エ ユニバーサルデザインの視点	オ デジタルコンテンツの扱い
東 書	<ul style="list-style-type: none"> 分野別のイラスト付き語彙リストの掲載 「小学校の単語」の一覧の掲載 「CAN-DOリスト」の掲載 発展的な読み物の掲載 英語学習のポイント等を示した「学び方コーナー」の掲載 語彙や本文等の音声、動画、関連資料等を利用できる二次元コードの掲載 等 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 単元の生徒の色覚特性に適合するようデザインしている。 単元の構成等を規則的にすることで、学習のユニバーサルデザイン化を図っている。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声や動画を聞くことができる。また、語彙や本文等のテキスト情報を併せて閲覧することができる。加えて、各単元の導入場面の動画資料を視聴したり、参考となる資料や動画を視聴したりすることができる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> 分野別のイラスト付き語彙リストの掲載 「小学校で学んだ単語」の一覧の掲載 「英語で」ができるようになったこと「リスト」の掲載 Q&A活動に活用できる質問と応答の一覧の掲載 活動に使用できる「アクションカード」(動作のイラストと英語表現が表裏になったもの)の収録 各単元に設定されている「Try」(即興的な「話すこと」の活動)の表現例の一覧の掲載 語彙や本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインの視点から、できるだけ多くの生徒が見やすくなるよう配慮している。 各ページの配列を規則的にすることで、学びやすい紙面になるよう配慮している。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声や動画を聞くことができる。また、本文のイラスト等を併せて閲覧することができる。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> 分野別の語彙リストの掲載 「What Can I Do?」(CAN-DOリスト)の掲載 発展的な読み物の掲載 「Take Action! Talk」(即興で伝え合う力を養う活動)で使用できる「ロールプレイング」(活動をを行う際の指示書)の掲載 辞書の活用方法、単語の学習方法など、英語学習の参考になる情報を提供する「For Self-study」の掲載 語彙や本文等の音声、動画を利用できる二次元コードの掲載 等 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインに配慮して編修している。 教材の配列をパターン化することで、どの生徒も学習に集中できるよう配慮している。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声や動画を聞くことができる。また、二次元コードに「Watch」と示された部分については、動画を視聴することができる。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の学習と並行して、帯活動等で行うことができる「Activities Plus」(Q&A活動)に活用できる質問と応答の一覧、即興のチャットやスピーチの話題(一覧等)の掲載 「小学校で学習したとみない語」の一覧の掲載 「Can-Do」自己チェックリストの掲載 自己紹介用ネームカードの収録 身近なものや人を説明するためのイラストカードの収録 即興でのスピーチ等の「お題」を記載したカードの収録 学習方法のアドバイスを紹介する「How to Study」の掲載 語彙や本文等の音声を利用できる二次元コードの掲載 等 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインに配慮して編修している。 教材の配置やレイアウトをパターン化することで、全ての生徒にとって学びやすい紙面となるよう配慮している。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声や動画を聞くことができる。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の学習と並行して、帯活動等で活用できる「Let's Talk」(即興的なやり取りを行うための質問と回答の表現集)の収録 分野別のイラスト付き語彙リストの掲載 小・中接続単元の新出語一覧の掲載 「CAN-DO List」の掲載 各学年の学習方法の指針を示した「英語の学び方ガイド」、技能別の学び方のコツなどを紹介した「Your Coach」の掲載 語彙や本文等の音声、映像、関連資料等を利用できる二次元コードの掲載 等 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 カラーユニバーサルデザインの観点から、専門家による校閲を行っている。 各情報(各単元における本文や活動等)をそれぞれ所定の位置に整理して配置することでレイアウトをパターン化し、生徒が迷わず学習できるよう配慮している。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声や動画を視聴することができる。また、教科書の「Watch」の活動では動画を視聴することができる。本文等の内容に応じて、参考資料へのリンクも設定している。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 分野別の語彙リストの掲載 「Can-Doリスト」の掲載 語彙や本文等の音声等を利用できる二次元コードの掲載 等 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインフォントを使用している。 色使いやデザインについて誰にでも必要な情報が伝わるよう配慮したことにより、メディア・ユニバーサルデザイン協会(MUD)の認証を申請中である。 各単元の構成を規則的にすることで、生徒が学習に取り組みやすいよう配慮している。 等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ページごとに配置された二次元コードを活用して、語彙や本文等の音声や動画を聞くことができる。また、語彙や本文のテキスト情報を併せて閲覧することができる。

